

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第12週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は2,254人(定点あたり52.7)で、前週比100%であった。

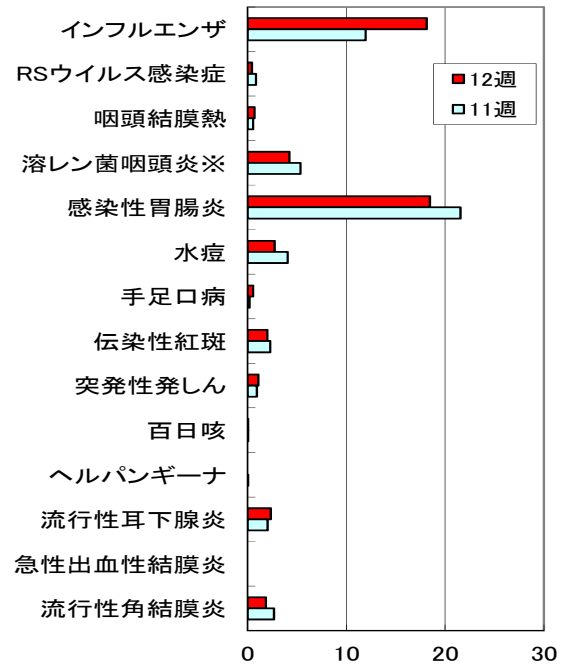
前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘であった。

インフルエンザの報告数は1,069人(18.1)で前週比152%と増加した。宮崎市(36.3)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では5歳以下が全体の20%、6-9歳が42%、10-14歳が31%、15-19歳が2%、20歳以上が5%を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は85人(2.4)で前週比116%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.7)の約1.4倍と多い。日南(10.7)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では4歳から7歳で全体の約7割を占めた。

マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。4歳の女兒で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報	定点あたり報告数		年齢分布
	開始基準値	宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
インフルエンザ	30	18.1	宮崎市(36.3)	5歳以下が全体の20%、6~9歳が42%、10~14歳が31%、15~19歳が2%、20~50歳代が4%、60歳以上が1%を占めた。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4.2	延岡(15.3)、中央(9.0)	3歳~6歳で全体の約6割を占めた。
感染性胃腸炎	20	18.4	日南(35.0)、小林(29.3)、都城(26.2)、高鍋(20.0)	1歳~2歳で全体の約4割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.0	高鍋(4.0)、宮崎市(3.5)、中央(2.0)	3歳~8歳で全体の約8割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.4	日南(10.7)	4歳~7歳で全体の約7割を占めた。

□ 感染性胃腸炎の集団発生 (平成23年3月21日~平成23年3月27日まで)

保健所名	施設の種別	件数
都城	老人福祉関係施設	1

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 11 例が延岡 (6 例)、宮崎市 (3 例)、都城・高鍋 (各 1 例) 保健所から報告された。
 - 《宮崎市保健所》・80 歳代の女性で疑似症患者。
 - ・80 歳代の男性で肺結核。咳、発熱、呼吸困難がみられた。
 - ・60 歳代の女性でその他の結核 (腸結核)。
 - 《都城保健所》・90 歳代の男性で肺結核。咳、発熱がみられた。
 - 《延岡保健所》・20 歳代の男性で無症状病原体保有者。
 - ・50 歳代の女性で無症状病原体保有者。
 - ・60 歳代の男性で無症状病原体保有者。
 - ・30 歳代の女性で無症状病原体保有者が 3 例。
 - 《高鍋保健所》・70 歳代の男性で肺結核及びその他の結核 (胸膜炎)。咳、痰がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 3 例が都城保健所から報告された。
 - ・30 歳代の男性で無症状病原体保有者。原因菌は 091 (VT1 産生)。
 - ・50 歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌は 091 (VT1 産生)。
 - ・60 歳代の男性で無症状病原体保有者。原因菌の 0 血清型は不明 (VT1 産生)。
- 4 類感染症 : A 型肝炎 1 例が延岡保健所から報告された。60 歳代の男性で全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常がみられた。
- 5 類感染症 : ○後天性免疫不全症候群 1 例が日向保健所から報告された。40 歳代の男性で A I D S。脂漏性湿疹、注察妄想、幻覚妄想、認知機能低下がみられた。
○梅毒 1 例が高千穂保健所から報告された。30 歳代の男性で早期顕症梅毒 I 期。副睾丸炎がみられた。

■ 全国第 11 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 34.5 で、前週比 97% とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患はなかった。減少した主な疾患は伝染性紅斑と咽頭結膜熱であった。

インフルエンザの報告数は 82,523 人 (17.3) で、前週比 103% であった。山口県 (48.9)、大分県 (41.6)、愛知県 (31.6) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 27%、6-9 歳が 38%、10-14 歳が 23%、15-19 歳が 2%、20-50 歳代が 9%、60 歳以上が 1% を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は 2,981 人 (1.0) で、前週比 99% とほぼ横ばいであった。長野県 (4.2)、香川県 (3.5)、新潟県 (3.1) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

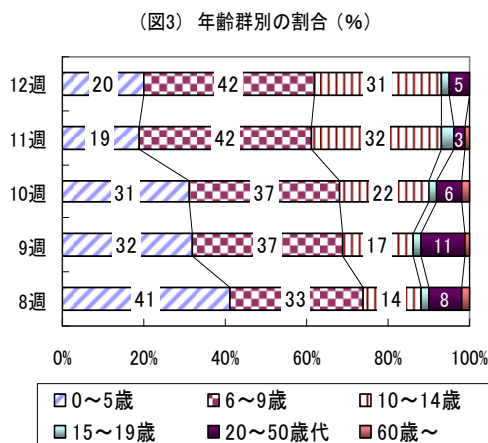
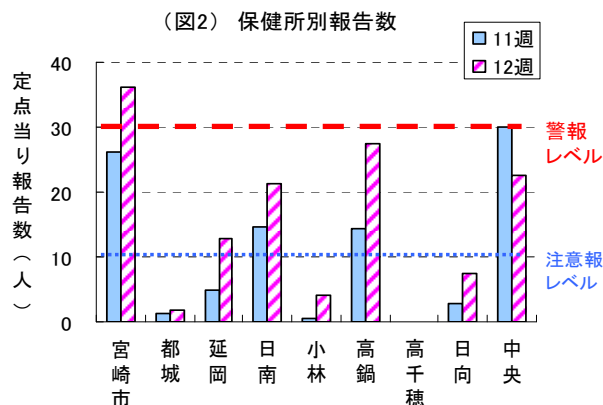
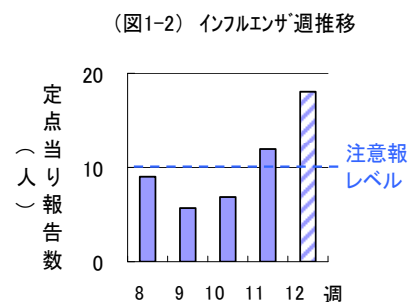
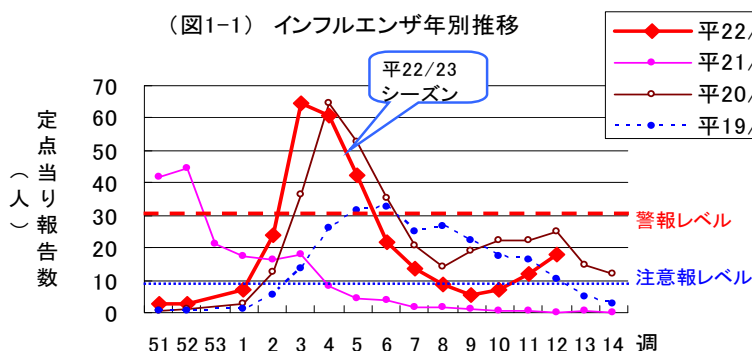
□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 277 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 6 例、腸管出血性大腸菌感染症 9 例
- 4 類感染症 : A 型肝炎 1 例、デング熱 4 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 3 例、レプトスピラ症 1 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 9 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 9 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 7 例、破傷風 1 例、風疹 6 例、麻疹 6 例

■ インフルエンザ情報《県内第12週、全国第11週（再掲）》

□ 県内第12週インフルエンザ発生動向

平成23年3月21日～3月27日までの1週間で1,069人（定点あたり18.1）の報告があり、前週に比べ152%と増加した（図1-1,2）。宮崎市（36.3）、高鍋（27.5）、中央（22.5）、日南（21.4）保健所からの報告が多く、宮崎市保健所管内では再度警報レベルを上回った（図2）。年齢別では5歳以下が全体の20%、6-9歳が42%、10-14歳が31%、15-19歳が2%、20歳以上が5%を占めた（図3）。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週（第12週）		1週前（第11週）		2週前（第10週）		3週前（第9週）		4週前（第8週）		5週前（第7週）	
	3/21～3/27		3/14～3/20		3/7～3/13		2/28～3/6		2/21～2/27		2/14～2/20	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	36.3	○	26.3	△	12.6	△	8.5	-	15.8	△	18.4	△
都城	1.7	-	1.3	-	2.0	-	2.1	-	3.4	-	8.7	-
延岡	12.9	△	4.9	-	4.4	-	7.6	-	7.9	-	15.9	△
日南	21.4	△	14.6	△	5.4	-	6.4	-	2.6	-	9.4	-
小林	4.0	-	0.4	-	1.4	-	2.6	-	6.4	-	14.2	△
高鍋	27.5	△	14.3	△	11.3	△	5.7	-	12.3	△	10.7	△
高千穂	0.0	-	0.0	-	1.0	-	1.0	-	3.0	-	7.5	-
日向	7.5	-	2.8	-	1.0	-	3.5	-	7.7	-	15.8	△
中央	22.5	△	30.0	○	23.5	△	12.0	△	7.5	-	15.0	△

□ 全国第11週インフルエンザ発生動向

平成23年3月14日～3月20日までの1週間で82,523人（17.3）の報告があり、前週比103%と横ばいであった。山口県（48.9）、大分県（41.6）、愛知県（31.6）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の27%、6-9歳が38%、10-14歳が23%、15-19歳が2%、20-50歳代が9%、60歳以上が1%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第12週(03月21日～03月27日)

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	705	1069	580	17	90	107	20	165		45	45
	定点あたり	11.95	18.12	36.25	1.70	12.86	21.40	4.00	27.50	0.00	7.50	22.50
RSウイルス 感染症	報告数	30	16	3	3		1		2		7	
	定点あたり	0.83	0.44	0.30	0.50	0.00	0.33	0.00	0.50	0.00	1.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	20	25		8	7	4	1			5	
	定点あたり	0.56	0.69	0.00	1.33	1.75	1.33	0.33	0.00	0.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	193	152	21	12	61	21	4	3	5	16	9
	定点あたり	5.36	4.22	2.10	2.00	15.25	7.00	1.33	0.75	5.00	4.00	9.00
感染性胃腸炎	報告数	776	664	104	157	44	105	88	80	17	56	13
	定点あたり	21.56	18.44	10.40	26.17	11.00	35.00	29.33	20.00	17.00	14.00	13.00
水痘	報告数	146	98	36	20	8	2	4	8		16	4
	定点あたり	4.06	2.72	3.60	3.33	2.00	0.67	1.33	2.00	0.00	4.00	4.00
手足口病	報告数	7	20	9		4			6			1
	定点あたり	0.19	0.56	0.90	0.00	1.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	82	72	35	7	7	1	1	16	1	2	2
	定点あたり	2.28	2.00	3.50	1.17	1.75	0.33	0.33	4.00	1.00	0.50	2.00
突発性発しん	報告数	34	39	8	8	4	4	4	4		7	
	定点あたり	0.94	1.08	0.80	1.33	1.00	1.33	1.33	1.00	0.00	1.75	0.00
百日咳	報告数	2	2								2	
	定点あたり	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	73	85	43	1	2	32	2	2		1	2
	定点あたり	2.03	2.36	4.30	0.17	0.50	10.67	0.67	0.50	0.00	0.25	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	11	9	2							
	定点あたり	2.67	1.83	3.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～12週)

2類感染症	結核	68例(11)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例(3)			
4類感染症	A型肝炎	1例(1)	つつが虫病	2例	
	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎
5類感染症	後天性免疫不全症候群	3例(1)	梅毒	3例(1)	破傷風
	風しん	1例			2例

●動物感染症累積報告数(2011年1週～12週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	17例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲